



関東支部 総会のご報告

支部長

山田 昭和

(1960年度 英語科卒)



2003年11月25日(土)、13時より、いま東京の新しい玄関口になりつつあるJR品川駅に近い、「ホテルパシフィック」29階・サファイヤの間で開催した。林同窓会長、事務局の藤川さんの参加を頂き、総勢19名であった。関東支部の特徴は学園時代の先輩の在住が多いことであろう。今回も元学長の石丸新先生を始め、4名の参加があった。学院創設からの精神的遺産と伝統が凝縮されており、重みと落ち着きがある。初めに学歌を斉唱した後、清水五郎幹事から先に召された光嶋督先生(学園時代の歴史学教授)の葬儀の様子が報告され、また支部会と時を同じくして、営まれた中園康夫元学長の葬儀について報告があり、両先生の学院に対する功績に感謝し、ご遺族の上にお慰めを祈って黙祷を捧げた。参加者一人一人が、年代を超えて学生時代の思い出や近況を語り合い、それぞれの持ち場で、素晴らしい証と、自己実現をしていることに、互いが励ましと力を得たことであろう。創設から、半世紀を経た学院の歴史と神の祝福を感じたひと時であった。関東支部会は、毎年11月第3土曜日に開催することが申し合わされた。2004年は、11月20日に行います。いまからご準備くださり、多くの方をお誘いください。大阪支部の結成も成り、全体制が整いました。同窓会の益々の発展を祈ります。

高知県支部 結成総会のご報告

副支部長

横山 義郎

(1971年度 人文学科卒)



2003年11月29日開催

同窓会の高知県支部結成といっても、イメージさえ湧いてこない者達が、なんとなく集められて2回3回と会を持つうちに、初期同窓生のパワーに押され、会則は、運営は、と侃々諤々やっているうちに、それなりに形が整い支部結成の運びとなりました。当日は漆原・宮田両教授の記念講演に続き、支部結成総会・親睦会が持たれました。ご多忙の中、根来四国学院理事長、林同窓会会長、岩崎副会長、香川・徳島支部、本部役員の方々のご臨席を賜り、一部参加も含めた30数名の支部会員出席のもとに開催されました。今後、隔年で支部総会・親睦会を持つ事が決まりました。今回も出席者集めのために5地区の幹事の方々が奔走していただきましたが、種々の事情により多くの方々に出席していただくことができませんでした。できるだけ多くの方の出席をいただくことが今後の課題でもあります。若い日を同じキャンパスで過ごした老若男女が一堂に会し、若き日を懐かしみつつも共に学院の未来を語る高知県支部にしていきたいものだと祈ってやみません。

愛媛県支部 「天野浩一君激励会」のご報告

支部長

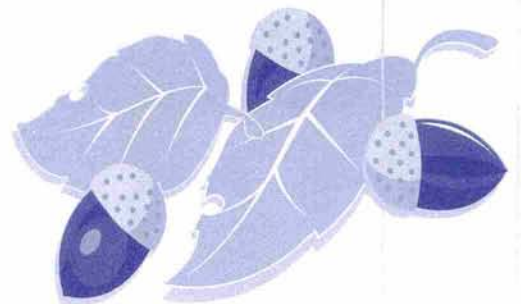
河野 正

(1976年度 人文学科卒)



愛媛県支部では、四国学院大学初のプロ野球選手となった天野浩一君の激励会を2004年6月19日(土)午後7時より、松山市道後において盛大に行いました。同窓会本部からも、林邦彦会長、岩崎啓一副会長、大学から漆原光徳教授、吉田心平野球部監督にも参加していただきました。激励会は、熱烈な天野投手ファンである大洲市在住の追林照敏さん(1972年度人文学科卒)からの「6月19日、坊ちゃんスタジアムで広島×ヤクルトの試合後、激励会をしよう。」との発案によるものでした。昼間の試合では、天野投手が8回に登板し、最高MAX145kmのスピードボールと切れのあるスライダで相手バッターを三者凡退(内2三振)に打ち取り、すばらしいピッチングで勝利に貢献しました。激励会は、林会長より「このような激励会を開催することを通じて同窓会の充実を図っていききたい。そのためにも天野投手に益々活躍して貰うよう頑張ってください。」との挨拶から始まりました。天野投手からは、「激励会を開いていただきありがとうございます。今日は皆様の応援のおかげで最高のピッチングができました。これからはもっと実力をつけ、多くの同窓生の皆様に応援していただけるよう頑張ります。」と力強い挨拶がありました。激励会では、参加者が天野投手と記念撮影をしたり、家族や職場から頼まれてボールや帽子にサインをして貰いながら、家族的な雰囲気で見学を深めることができました。激励会という場を参加者が共有することにより、天野投手からパワーを貰い、勇気づけられ、また同窓会の絆が強まったように思います。とても思い出に残る一日となりました。天野投手は近い将来、広島東洋カープの大エースになると思います。これからが本当に楽しみです。同窓会の皆さんも天野投手の活躍を願って応援しようではありませんか。

愛媛県支部 総会のご報告



愛媛県支部総会は、2004年8月28日(土)「東京第一ホテル松山」を会場に、同窓会から林会長はじめ本部役員の皆様のご臨席を賜り、34名の支部会員出席のもと盛大に開催されました。

総会は、懐かしいカレッジソングを唱和し開会しました。議事では、支部活動報告、予算案、支部会則、役員改選等が承認されました。

総会終了後、懇親会を行い、和気藹々の中旧友達との思い出に花を咲かせ楽しい一時を過ごすことができました。

この度の総会におきまして、佐々木信也支部長が御勇退されることとなりました。佐々木支部長は、これまで二十数年の長きに渡り、愛媛県支部長として活動され、支部の発展、支部会員相互の融和と強調に多大な貢献をされました。その御功績に対しまして深く感謝申し上げますとともに、今年度から鈴鹿医療科学大学勤務となり、新天地での御活躍をお祈り申し上げます。

今後は、新役員スタッフが協力しながら、支部活動の充実、支部会員相互の親睦を図り、愛媛県支部を発展させていきたいと思っていますので、宜しくお願い申し上げます。

大阪支部 結成総会のご報告

支部長

岡本 孝三

(1972年度 人文学科卒)



2004年7月3日に、「新大阪ワシントンホテル」にて大阪支部結成総会がとり行われました。当日大学側より末吉学長、吉田前学長、漆原教授に、また同窓会本部より林会長他5名の役員の方々、関東支部より1名、大阪支部参加者28名の計38名の方々にお集まりいただきました。第1部に於いて、四国学院大学、漆原光徳教授の「体脂肪を燃やす最新ダイエット法」と題したご講演を賜りました。引続き第2部にて結成総会を開催し、学歌斉唱、準備委員会代表挨拶、来賓挨拶が行われ、議事では、設立趣旨の説明、役員を選任、今後の活動方針と滞り無く議事は進行いたしました。その後第3部に於いて懇親会が行われました。皆さん学生時代の懐かしい話に花が咲いている様子でした。私も卒業して30年余りたち、その間お会いすることがなかった方と名前や卒業年度、共通の先輩、友人の話をしているうちに徐々に相手が誰だか判ることもあり、ずい分時が過ぎたのを感じた次第です。日々仕事、家事等多忙な生活を送っている中、久し振りにオアシスで休養を得た感じがしました。現在大阪には約400名の同窓生がおります。又まだ支部のない近県の方々にも声をかけ、次回には今回より一人でも多くの方に参加していただくよう努力するつもりです。最後に、大阪支部結成に際しご尽力いただきました末吉学長、吉田前学長、漆原教授、同窓会本部役員、事務局の皆様へ厚く御礼申し上げます。小生を含め新役員は、いまスタートを切ったばかりで手さぐり状態です。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

映画ロケ誘致に力を入れる香川県 『サマータイムマシン・ブルース』 四国学院&同窓会も全面協力



630万人が見たといわれる「世界の中心で愛を叫ぶ」から、西讃を中心に撮られた「機関車先生」、四国88箇所巡礼をテーマにした「ルート88」まで、今香川は映画のロケ隊誘致に力を入れてさまざまな分野に大きな効果を出しています。その一環として「踊る大捜査線 THE MOVIE」の本広克行監督が挑む新作(SF タイムスリップ・ムービー)の撮影が7、8月に四国学院大学においておこなわれました。

同窓会では、ロゴス館を俳優・スタッフの控え室、道具・衣装部屋等に提供し、学院と一緒に全面的に支援いたしました。その間、ロゴス館ご利用の同窓生には不自由をおかけしたかと存じますが、ご協力ありがとうございました。

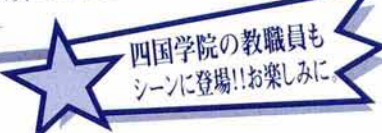


タイムマシン



SF研究会部屋/ホワイトハウスにて

～ 夏、とある大学のSF研究会部屋。SFの研究を全くしない5人の男たちと、その奥に暗室があるカメラクラブの2人の女性部員。前日にクーラーのリモコンが壊れてしまい、猛暑のなか気だるくも賑やかな日常が繰り返されている。そんな中、ふと見ると部屋の隅に突然タイムマシンが!? 「そんなバカな(笑)」とはしゃぎながら試しに乗ってレバーをひいた瞬間、閃光とともにタイムマシンは消えてしまった! 「ホンモノ!?」「すげえ!」と盛り上がる部員たち。「過去に行く!? 未来に行く!」とアイデアが飛び交うが、まず昨日に戻って壊れる前のクーラーのリモコンを取って来る事に決定!! ところが帰りを待つ部員の前に2030年から来たという未来人が登場し、過去を変えることの危険性に気が付き始める。「昨日からリボン持って来るとは、過去を変えちゃうってことだね。もしかして僕ら消えていなくなっちゃうんじゃない!?!」SFを全く理解しないSF研のメンバーが次々に引き起こすトラブルのドミノ倒し。たった1個のリモコンのために、彼等は消えてしまうのか!? ～



★主演

瑛太

(「ウォーターボーイズ」、「オレンジデイズ」等に出演)

上野樹里

(「オレンジデイズ」、「スウィングガールズ」等に出演)

同級生インタビュー

～讃岐のうどんブームを支える卒業生カップル～

「麺工房 六車」 六車 正信 (1980年度 人文学科卒)
 るみ子 (1982年度 人文学科卒)



讃岐で生まれ讃岐で育った私たちにとって日常欠かせない食べ物の一つと言え
 ばうどん。うどんは原料の小麦粉に塩を含めた水を加えて生地を練り、寝かして、
 好みの太さに切り、茹で上げたシンプルな食べ物ですが、私たちがこのうどんに素
 朴な暖かみを感じるのは何故でしょう。今回は地元東かがわ市で家業を継ぎ、数々
 の製麺技能コンテストでも認められつつ、地元で愛されるうどん店を経営している
 六車正信さん、るみ子さんご夫婦をご紹介します。6月の土曜日の午後4時、東か
 がわ市湊川沿いを北に向かい西へ入り込んだ所でお店を見つけました。目印の水
 車小屋が描かれた壁を見つけたとき、遠来客同様、宝探しの気分を味わったのも
 つかの間、入口に本日終了の看板を見て不安になりました。しかし、中に入ると生
 麺類の販売コーナーは営業中。従業員の方が明日の仕込みを終え帰宅されるなか
 製麺工場の親父さんという出で立ちのご主人と優しい奥様が登場しました。

Q —今日は、暖簾がしまわれているのに、生麺の販売は
 されている様子ですが営業時間はどうなっていますか？

A はい。製麺業ですが生麺の製造販売が主たる業
 ですので、うどんの食堂の方は11時30分から14
 時前までです。また、お客様に最も美味しい打ち立
 てを食べていただくために10分以上たった麺は出
 しておりません。(正信氏)

販売用には別の入口を開けています。こちらの生
 麺他の販売は年中無休です。(るみ子さん)

Q —昨今の讃岐うどんブームでお客さんは地元以外に
 遠方からの方も多いのでは？

A 地元の方も多いですが、日曜日が休みなので土曜
 日が特に混みますね。行列を作って待っていただい
 ていますが、自分が心底納得のいくうどんはなかなか
 出来ませんが、会心のうどんが作れたときなどは
 店の表に黄色のハンカチを出したくなりますね。
 (正信氏)

Q —ご家業を継がれるきっかけについて教えてください。

A 実は父が脳梗塞で倒れた事から、指導者のいない
 まま家業を継ぐことになりました。その当時会社員
 として広島方面に出張をしていたのですが、翌日か
 ら急遽、うどん屋になりました。父の仕事を見ていた
 とは云え、作り方など聞いた事もなく最初の頃は相
 当試行錯誤を重ねました。(正信氏)

そう、うどんは出来ても釜の湯が沸いてないなん
 ていう事はしょっちゅうでした。自然と早起きをして
 頑張りました。(るみ子さん)

Q —大学時代の思い出について何かありますか？

A 妻と知り合ったきっかけは、下宿の隣に住んでいた
 友人が交通事故に遭い、七日間の存命期間の後亡く
 なったのですが、彼が頑張った最後の七日間を家族
 の方と集まった友人達で24時間付き添って看護をし

ました。その中に彼の親しい友人として彼女(るみ子
 さん)がいたのですが、彼のいなくなった時間をみ
 んなで励まし合って過ごしていく中で彼女と付き合
 うようになりました。彼はゴルフ同好会を作っており
 ましたがその意思を引き継ぎ、沢山の友人が会員に
 になりました。部室を作るため皆で守衛小屋をコロに
 載せて、テニスコート側まで少しずつ運びましたが、今
 考えるとみんな必死だったんだと思います。

Q —うどん店の経営で客をもてなすノウハウ、心がけ
 等はありませんか？

A 遠く昔よりお遍路さんをもてなすためにうどんの
 接待が始まったのですが、初心を忘れず「お客さん
 に良い印象を与えたい」と従業員一同心がけていま
 す。(るみ子さん)

Q —まさに香川の観光と地域活性の命運の一翼を握っ
 ているのは讃岐うどんブームですが、当事者として
 この好機をどう捕らえていますか？

A 今のうどんブームは食べ歩きブームであり、遠
 来から来て店を探し出し、またそれに見合うだけの
 味を楽しむ、探検のようなものです。讃岐うどんの
 長期的な反映を願うなら、同業者間で情報交換の場
 を持って、さらに品質の向上に努めなければと思い
 ます。(正信氏)

Q —最後に麺工房六車さんのこだわりの製法について
 教えてください。

A この辺りは地下水が豊富で、水道を使用しなくて
 も十分に仕事ができるのです。加水率52%(夏場
 50%)のうどんは県下でも珍しいと思いますが、厳
 選した小麦粉、ミネラル塩、特に恵まれた地下水に
 はこだわりを持っています。人気があるのは釜抜き(釜
 揚げではない)。茹で上げた麺に茹で汁を少量加え、
 鰹節と卵、だし醤油をかけて食べていただきます。
 是非お勧めします。(正信氏)

立地的にもまさにうどん屋をやれという天命が聞
 こえるような環境です。(るみ子さん)

インタビュー/会報委員 飛田 由香

二人ともが同窓生ということで毎年キャンパスを訪れるという六車御夫妻。実はロゴス館宿泊第1号である事を知り、親
 しみを感じました。次回は是非2時間半の営業時間内に来てみたいと思いながら帰路に着いた、素敵なお店でした。

麺工房 六車 URL <http://www.udon.ne.jp/> (詳しくお知りになりたい方はこちらへ)
 東かがわ市 TEL (0879)-25-2051



同窓生からの便り

Youth is not a time of life ; it is a state of mind

藤田 英 彰 (1970年度 英文学科卒)

香川県の教員採用試験がだめだった私が埼玉県の教員として働くようになったのは、その当時アドバイザーだった浜島先生の一言でした。「勉強するなら都会がいい」。特に勉強をしようという気持ちはありませんでしたが、何となく教師に憧れていたこともあり、またすぐ帰って来ればいいというような軽い気持ちで故郷を離れ、33年が過ぎました。

声が大きかったこと、運動が好きで元気がよかったことなど・・・が幸いしてか、2年目から生徒指導主任を任せられたり、英語の指導以外にもいろいろな機会をいただきました。もちろん、四国学院で鍛えられた英語の授業は、誰にも負けぬつもりでやりました。校内暴力等が大きく取り上げられた昭和の終わりの頃、自分が番長のつもりでやっていたことを思い出します。その後、教育事務所等でも仕事をさせていただき、平成8年から校長として勤めています。

50歳を過ぎた頃、日本人学校に行っていた友人から話を聞く機会があり、なかば忘れかけていた外国で働きたいという自分の夢が急に身近になりました。昨年よりタイのバンコク日本人学校で2,000名を越える児童生徒、86名の日本人教師他と生活しています。本校は、日本人学校としては世界でもっとも古い歴史をもっており、児童生徒数も最大の学校です。毎週のように、子どもの退学・編入学がありますが、この3年は毎年100名以上増加しています。子どもたちは私が奉職した頃の素直さ・優しさがあり、教師もやる気に満ちており、大変忙しいですが働き甲斐のある学校です。

バンコクは物価も安く暮らしやすい大都会です。個人的には国の政治・経済・文化をリードしている方々と出会う機会もあり、いろいろ楽しみがあります。

「青春とは人生のある期間を言うのではなく、心のあり方を言う(Youth is not a time of life; it is a state of mind)」この言葉を胸に、これからも子どもたちが学んでよかったという学校を創っていきたいと思っています。



学院からのご案内

2005年度 四国学院大学学生募集(後半)のお知らせ

| | |
|---------------------|-------------------|
| 2005年1月6日(木)～18日(火) | 一般入学試験(A)願書受付 |
| 2月1日(火)、2日(水) | 入学試験日(一般A) |
| 2月1日(火)～10日(木) | 院(二次)・編入学(二次)願書受付 |
| 2月18日(金) | 入学試験日(院二次・編入学二次) |
| 2月15日(火)～24日(木) | 一般入学試験(B)願書受付 |
| 3月4日(金) | 入学試験日(一般B) |

四国学院入試課 0120-459-433

<http://www.sg-u.ac.jp>

速報

新設 社会福祉学部

- ・社会福祉学科(2004年4月開設)
- ・子ども福祉学科(2005年4月開設予定)

さらなる専門知識、
技術の習得を目指します。

第28回メサイア演奏会

- ★日 時 12月4日(土)午後6時～
- ★場 所 本学清泉礼拝堂

学院クリスマス

- ★日 時 12月21日(火)午後5時30分～
- ★場 所 本学清泉礼拝堂

お問合せ 四国学院 宗教センター
0877-62-2111(内線250)

“祖谷山ロッジ”のご紹介

学院は自然が美しい徳島県三好郡東祖谷山村に素敵なロッジを所有しています。卒業生も利用できるそうですので、お気軽にお問合せください。

**宿泊料
1,000円**

お問合せ 四国学院 学生課
0877-62-2111(内線208)

詳細につきましては、本学ホームページ<http://www.sg-u.ac.jp>をご覧ください。

同窓会事務局からのお知らせ

ログス館利用案内

旅行の宿、同窓会場としてお気軽にご利用ください。1階ホールのみのご使用も可能です。週末は大変混みますのでお早めにご予約を。
休館日/お盆・年末年始

お問合せ・お申込は 四国学院同窓会事務局
0120-459-500

| 部 屋 | 定 員 | 室 数 | 使 用 料 |
|-----------|--------|-----|------------|
| 2階和室 | 10人程度 | 2 | 一人 1,200円 |
| 2階洋室(ベッド) | 6人/10人 | 2 | 一人 1,200円 |
| 3階和室 | 4人 | 2 | 一部屋 7,500円 |
| 3階個室 | 1人 | 4 | 一部屋 3,000円 |

年1回発行の会報だけでは同窓会活動や四国学院の企画案内等、タイムリーな情報を提供するには限りがあります。是非、同窓会や四国学院のホームページをご覧ください。

“掲示板”も設けていますので、同窓会の案内や個人の近況報告等、交流が図られますようご自由にご利用ください。

お便り募集

サークル・ゼミ・他諸団体のOB会の案内や報告、また同窓会、四国学院へのご意見、お待ちしております。

会員名簿の販売

1999年度版 定価4000円(送料込み)販売は、会員のみ限定しています。

住所変更届のお願い

全国的な市町村合併等による住所表示の変更や、ご結婚・転職等で住所等が変わられる場合は必ずご一報ください。

ご注意ください

当会とは一切関係のない団体から、電話やハガキで住所調査や寄附の勧誘等があったと連絡を頂いております。当会による活動につきましては、会報やホームページで前もってお知らせ致しますので、充分ご注意ください。

★会報に関しまして何かご意見・ご要望がございましたらご連絡ください。

編集後記



ログスだよりも発行6号を迎えました。卒業生の皆様の素晴らしいご活躍と取材へのご協力に感謝を申し上げます。私達取材班は皆様と世代が異なっても学院と言う共通体験を愛しみ毎号記事を書かせていただいております。

ログスだよりのバックナンバー(既発行分)は同窓会HPに掲載されております。是非、多くの皆様にご覧にいただき同窓生の絆を深めていただければ幸いです。

<会報委員>

飛田 由香
(1983年度 英語科卒)

<学生校正委員>

久保 奈緒美 (4年、社会福祉)
宇都宮亜矢子 (3年、社会福祉)
引田 誠子 (3年、人文)